

# ブルーレイディスク™ / DVDプレーヤー

## 取扱説明書

はじめの接続や準備

再生

設定

その他



お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は、安全のための注意事項を守らない  
と、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



# 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



## 安全のための注意事項を守る

2～5ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。6ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

## 定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかりと差し込まれているか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



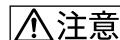
- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼する

## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電



指のケガに注意

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

## 行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く



**警告**



**火災**



**感電**

**下記の注意事項を守らないと火災・  
感電により死亡や大けがの原因と  
なります。**

### **電源コードを傷つけない**

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
  - 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
  - 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
  - 熱器具に近づけない。加熱しない。
  - 移動させるとときは、電源プラグを抜く。
  - 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持つて抜く。
- 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。



**禁止**



**指示**

### **本機の上に重たいものや不安定なものを置かない**

感電や故障の原因となります。



**禁止**



**禁止**

### **湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のある場所には置かない**

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。



**禁止**



**禁止**

### **内部に水や異物を入れないようにする**

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機やACアダプターの上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。

- 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。



**禁止**



**指示**

### **本機は室内専用です**

乗物の中や船舶の中などで使用しないでください。



**指示**

### **キャビネットを開けたり、分解や改造をしない**

火災や感電、けがの原因となることがあります。



**分解禁止**

→ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

### **付属以外のACアダプターを使わない**

火災や感電の原因となります。



**禁止**

### **本体やACアダプターを布団などでおおった状態で使わない**

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



**禁止**

### **雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない**

感電の原因となります。



**接触禁止**

### **本機は国内専用です**

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。また、コンセントの定格を超えて使用しないでください。



**指示**

### **可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない**

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。



**禁止**



## 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

### ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。ぬれ手禁止



### 通電中、本体やACアダプターに長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになると、低温やけどの原因となることがあります。



### 風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



### 大音量で長時間続けて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。

→呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。



### 安定した場所に置く

水平で丈夫な場所に置いてください。ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。



### 本体の前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。



### 幼児の手の届かない場所に置く

指のケガに注意

ディスクの挿入口などに手をはまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬよう

にご注意ください。

禁止

### コード類は正しく配置する

AVケーブルや電源コードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。



### 移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

### 移動させるとき、すべてのAVケーブルや電源コードを抜く



指示

AVケーブルや電源コードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

### お手入れの際、電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。



### ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない



本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

# 電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

## ⚠ 警告

### 電池の液が漏れたときは

#### 素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくとも、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。



接触禁止

#### 必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



指示

### 電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

- 万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。



禁止

### 電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁止

### 電池を火のそばや直射日光のあたるところなど、高温の場所で使用、保管、放置しない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁止

## ⚠ 注意

### 指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁止

- マンガン電池をお使いください。  
電池の品番を確かめ、お使いください。

### +とーの向きを正しく入れる

+とーを逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



指示

- 機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

### 使い切ったときや、長期間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。



指示

### リモコンの電池フタを開けて使用しない

リモコンの電池フタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。



指示

- マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

# 使用上のご注意

ACアダプターは、コンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、異常な音やにおい、煙がでたときはすぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。本体の電源ボタンを切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

## 付属の電源コードセットについて

付属の電源コードセットは本機専用です。他の電気機器では使用できません。

## 本機の起動と終了について

本機はシステム全体の最適化を図るため、電源入切時に電源ボタンを押してから、実際に起動するまでと実際に電源が切れるまでしばらく時間がかかります。

電源が切れる前にコンセントから電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

## 残像現象(画像の焼きつき)のご注意

本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。

## 設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- 振動の多い所。
- 直射日光が当る所、湿度が高い所。
- 極端に寒い所、極端に暑い所。
- 本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所。

- 通気口をふさぐような所(毛足の長いじゅうたんや布団の上)。
- また、本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かないでください。火災の原因となります。

## 設置場所を変えるときは

- BDやDVD、CDを入れたまま本機を動かさないでください。ディスクを傷めることができます。
- 配線／接続作業を行うときは本機の電源を切り、本機の電源が切れていることを確認してから電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

## 結露(露つき)について

結露とは空気中の水分が冷えた金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きた場合、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込んでいない場合  
電源プラグをコンセントに差し込まないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れていない場合  
電源を入れないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れている場合  
電源を入れたまま放置してください。

結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

## 本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナー・ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

## 再生を開始するときは

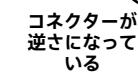
音量を必ず下げておきましょう。初めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損させたり、ヘッドホンで聞いている場合には耳を傷めるおそれがあります。

## クリーニングディスクについて

レンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

## HDMI出力端子につなぐときのご注意

次のような場合、HDMI出力端子やコネクターを破損されるおそれがありますのでご注意ください。

- ケーブルを差し込むときは、本体背面のHDMI出力端子とコネクターの形や向きに注意してください。
- コネクターが曲がっている逆さまになっている
- 本機を移動させるときは、必ずHDMIケーブルを抜いてください。



- HDMIケーブルを抜き差しするときは、コネクターをまっすぐ持ってください。コネクターをねじ曲げたり、HDMI出力端子に強く押しこんだりしないでください。

## 著作権保護について

ブルーレイディスク™やDVDでは、著作権保護技術が採用されています。AACS(Advanced Access Content System)やCSS(Content Scramble System)と呼ばれる著作権保護技術により、再生やアナログ出力に制限がかけられます。AACSの団体が本製品の購入日以降に制限に関する規定を制定または改訂することがあるため、本製品の操作および制限の内容は購入日により異なる場合があります。

## Cinaviaの通告

この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com>のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。

## 著作権／商標について

- 本機は、無許諾のBD/DVD（海賊版等）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。



- DTSの特許については、<http://xperi.com/dts-patents/>をご覧ください。DTS, Inc.および関連会社のライセンス契約に基づいて製造されています。DTS、DTSロゴ、Digital SurroundおよびDTS 2.0 + Digital Outは、米国および他の国におけるDTS, Inc.および関連会社の登録商標または商標です。  
© DTS, Inc. and its affiliates. ALL RIGHTS RESERVED.



- HDMI®、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレステキストロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- “DVD ロゴ”はDVD Format/Logo Licensing Corporation の商標です。
- DVD+RW、DVD-RW、DVD+R、DVD-R、DVDビデオおよびCDのロゴは商標です。
- Blu-ray Disc™、Blu-ray™、BD-LIVE™、BONUSVIEW™、及びロゴはブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- “ブラビアリンク”および“BRAVIA Link™”は、ソニー株式会社の商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- この製品はVerance Corporation (ベルанс・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。Copyright 2004-2010 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。
- Windows Mediaは米国および／または他の国におけるMicrosoft Corporation の登録商標または商標です。本製品にはMicrosoftの知的財産権の対象である技術が含まれています。Microsoftから使用許諾を得ることなく、この技術を本製品以外で使用または発布することは禁じられています。コンテンツ所有者は、Microsoft PlayReady™のコンテンツアクセス技術を利用して、著作権保護コンテンツ等の知的財産を保護しています。本機はPlayReadyで保護されたコンテンツおよび／またはWMDRMで保護されたコンテンツへのアクセスにPlayReady技術を利用しています。本機がコンテンツの利用を正しく制限しない場合、コンテンツ所有者は、PlayReadyで保護されたコンテンツを利用する機器の能力を取り消すよう

Microsoftに要求することができます。この取り消しにより、著作権保護されていないコンテンツまたは他のコンテンツアクセス技術で保護されたコンテンツに影響が及ぶことはありません。コンテンツ所有者は、自らのコンテンツへのアクセスに際し、PlayReadyのアップグレードを要求する場合があります。アップグレードを拒否した場合は、アップグレードが要求されるコンテンツにアクセスできないようになります。

- Vewd® Core. Copyright 1995-2023 Vewd Software AS. All rights reserved. And right expression: This software is being provided on an <<as is>> basis. Vewd and its suppliers disclaim all warranties regarding the software, either express or implied, statutory or otherwise, including without limitation warranties of functionality, fitness for a particular purpose or noninfringement.



- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは省略している場合があります。

## ソフトウェアライセンス

ソフトウェア使用許諾契約について、本機に付属のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。  
**製品を使用すると、本契約に同意したものと見なされます。**

他のソフトウェアライセンスに関する詳細情報は、[設定] を選び、[本体設定] の [ソフトウェアライセンス] をご参照ください。

本製品には、以下のGNU General Public License (以下「GPL」とします) または、GNU Lesser General Public License (以下「LGPL」とします) の適用を受けるソフトウェアが含まれています。お客様は添付のGPLまたはLGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。本機で使用するソースコードはGPLおよびLGPLの適用対象であり、Webで提供しています。ダウンロードする際には、以下のホームページにアクセスしてください。  
<https://oss.sony.net/Products/Linux>  
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

本製品に搭載され、または本製品で利用可能なネットワーク、コンテンツおよびソフトウェアには、各々の利用条件が適用されます。予告なく提供が中断・終了し、内容が変更され、ご利用に際して別途の登録や料金の支払いが必要になる場合がありますので、ご了承ください。

# 目次

- 2 安全のために
- 6 使用上のご注意

## はじめの接続や準備

- 10 各部の名前
- 13 Step 1: 接続する
- 14 Step 2: ネットワークにつなぐ(ソフトウェアのアップデートまたはBD-Live™利用のため)(有線LANのみ)
- 14 Step 3: かんたん設定

## 再生

- 16 ディスクを再生する
- 17 USB機器を再生する
- 17 さまざまなオプション

## 設定

- 19 本機の設定を変更する
- 19 [ソフトウェアアップデート]
- 19 [映像設定]
- 20 [音声設定]
- 21 [BD/DVD視聴設定]
- 21 [視聴年齢制限設定]
- 22 [本体設定]
- 22 [通信設定]
- 23 [設定初期化]

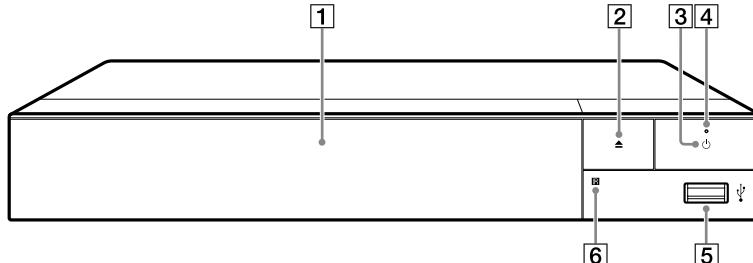
## その他

- 24 困ったときは
- 27 保証書とアフターサービス
- 28 主な仕様
- 34 索引

## はじめの接続や準備

# 各部の名前

## 本体前面



[1] ドアトレイ

[2] ▲ (開／閉)ボタン

[3] ⌂ (電源)ボタン

本機の電源を入れる、またはスタンバイ状態にします。

[4] 電源ランプ

本機の電源を入れると点灯します。

[5] ↴ (USB)端子

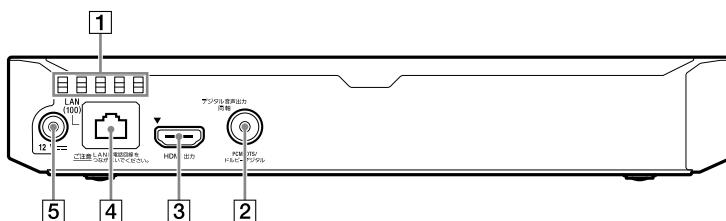
[6] リモコン受光部

ディスクトレイをロックするには  
(チャイルドロック)

誤ってディスクトレイを開けないようにロックできます。

ディスクトレイをロックしたり、ロックを解除したりするには、本機の電源が入った状態で、リモコンの ■ 停止ボタン、ホームボタン、トップメニュー ボタンの順に押してください。

## 本体背面



[1] 通気口

[2] デジタル音声出力(同軸)端子

[3] HDMI 出力端子

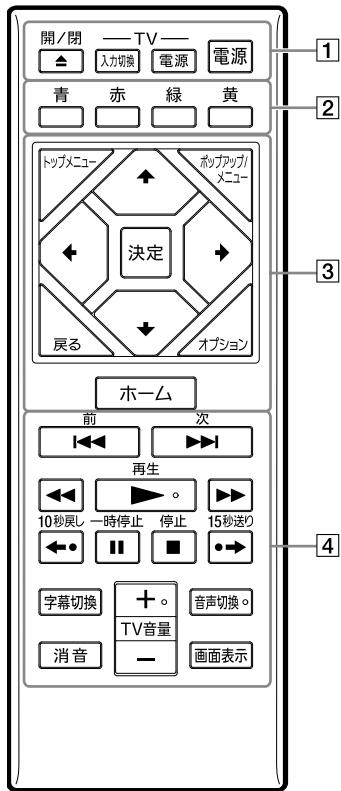
[4] LAN (100)端子

ソフトウェアのアップデートまたは  
BD-Live™利用のためにのみ使用します。

[5] DC IN 12 V (ACアダプター入力)端子

## リモコン

利用できるリモコンの機能は、ディスクや使用状況によって異なります。



### ちょっと一言

音声切換ボタン、TV 音量+ボタン、および  
▶再生ボタンには凸(突起)がついています。  
操作の目印としてお使いください。

#### ① ▲ 開／閉

ディスクトレイを開閉します。

#### TV 入力切換

テレビの入力を切り替えます。

#### TV 電源(12ページ)

テレビの電源を入れる、またはスタンバイ状態にします。

#### 電源

本機の電源を入れる、またはスタンバイ状態にします。

#### ② カラーボタン(青／赤／緑／黄)

各種メニューへショートカットできます。

#### ③ トップメニュー

BDやDVDのトップメニューを表示または閉じます。

#### ポップアップ／メニュー

BD-ROMのポップアップメニューやDVDのメニューを表示または閉じます。

#### オプション(17ページ)

選択できるオプション機能を画面に表示します。

#### 戻る

ひとつ前の画面に戻ります。

#### ←/↑/↓/→

上下左右に動かして項目を選びます。

#### ちょっと一言

- ↑/↓は、音楽CD 再生時に、トラックサチのトラック番号を入力できます。
- ↑/↓は、写真再生時に、写真を右回りまたは左回りに90 度回転できます。
- ←/→は、静止画像を変更できる場合に、静止画像を変更するために使えます。

#### 決定

選んだ項目を決定します。

#### ホーム

ホームメニューを表示します。

#### ④ ◀◀前／次▶▶

前または次のチャプター／トラック／ファイルの先頭に進みます。

#### ◀◀/▶▶(早戻し／早送り)

- 再生中に押すと、早送り再生または早戻し再生します。ビデオ再生中は、押すたびに速さが切り換わります。
- 一時停止中に1秒以上押すと、スロー再生します。
- 一時停止中に軽く押すと、コマ送り再生します。

#### ▶再生

再生します。

#### ◀・10秒戻し／15秒送り・→

BDやDVDの再生中に少し前に戻る、または先に進みます。

#### ■一時停止

一時停止または再生を再開します。

## ■停止

再生を停止すると同時に、停止した位置を記憶します(つづき再生)。再開する位置は、動画／音楽では最後に停止した位置、写真では最後に再生した写真になります。

## 字幕切換(21ページ)

視聴しているBD-ROMやDVDビデオに字幕が複数の言語で記録されている場合、言語を選べます。

## TV音量+/-

テレビの音量を調節します。

## 音声切換(21ページ)

視聴しているBD-ROMやDVDビデオにセリフが複数の言語で記録されている場合、言語を選べます。

CDでは音声トラックを選べます。

## 消音

一時的にテレビの音を消します。

## 画面表示(17ページ)

再生情報を画面に表示します。

## ちょっと一言

ディスクの種類によっては、つづき再生できないものがあります。

## 操作できるテレビの設定方法について

リモコンの-TV-電源ボタンを押したまま、下の表にしたがって、お使いのテレビメーカーに対して割り振られたボタンを2秒間押してください。

複数のボタンが割り当てられているメーカーの場合は、順にお試しいただき、お使いのテレビが操作できる設定を探してください。

メーカー	リモコンのボタン
三洋	決定
	▶▶(早送り)
シャープ	戻る
NEC	オプション
パイオニア	ホーム
フナイ	▶ 再生
LG	◀◀ 前
サムスン	■一時停止
	■停止

\* お買い上げ時の設定です。

## ご注意

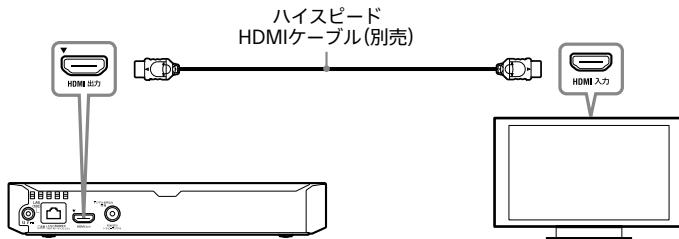
テレビの年代や機種によっては操作できない場合があります。その場合は、テレビに付属のリモコンをお使いください。

# Step 1: 接続する

電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。

## テレビにつなぐ

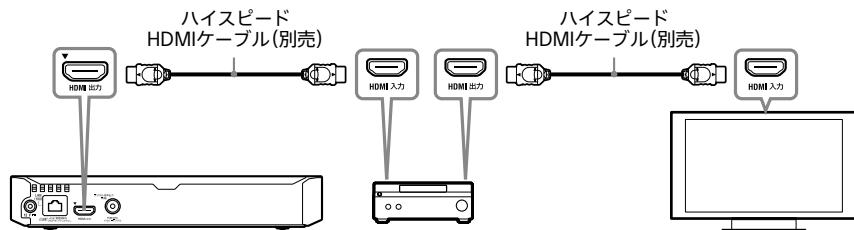
本機をハイスピードHDMIケーブルでテレビにつないでください。



## AVアンプにつなぐ

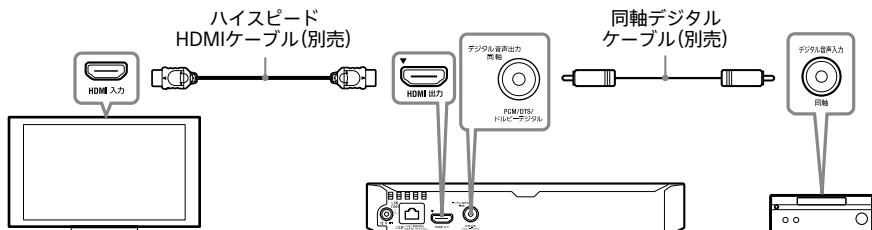
お使いのAVアンプの入力端子をご確認のうえ、つなぎかたを選んでください。AまたはBを選んだ場合、「音声設定」を正しく設定してください(20ページ)。

A



→ [BD音声MIX設定]を設定してください (20ページ)。

B



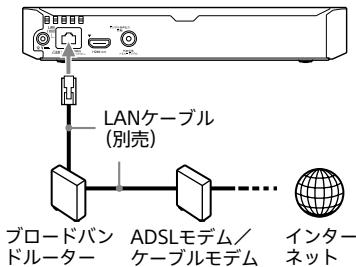
→ [AAC]を設定してください(20ページ)。

## Step 2: ネットワークにつなぐ(ソフトウェアのアップデートまたはBD-Live™利用のため)(有線LANのみ)

本機をネットワークにつながない場合は、「Step 3: かんたん設定」に進んでください。

### LANケーブルで接続する

LANケーブルを本機のLAN (100) 端子につなぎ、インターネットにつなぎます。



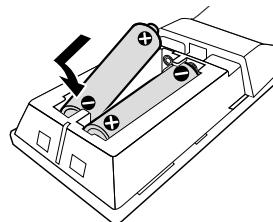
### ご注意

- 本機につなぐルーターなどは、電気通信事業法に基づく技術基準に適合しているものを利用してください。
- 本機はルーターを経由して接続、もしくはルーター機能のあるLANポートへ接続をしてください。接続をしない場合、セキュリティ上の問題が生じる可能性があります。

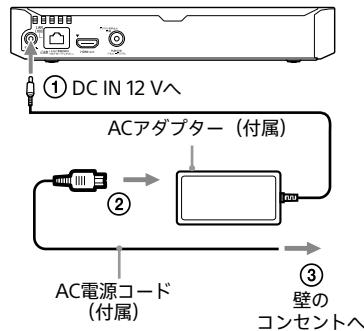
## Step 3: かんたん設定

はじめて本機の電源を入れるととき  
[かんたん初期設定]画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

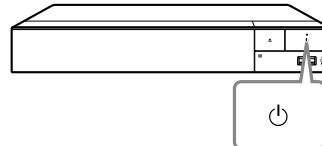
- 電池の $\oplus$ と $\ominus$ 側をリモコンの電池ホルダー内の表示に合わせ、単4形(R03)乾電池2本を入れてください。



- 付属のACアダプターとAC電源コードを以下の順番でつないでください。抜くときは、逆の順番で抜いてください。



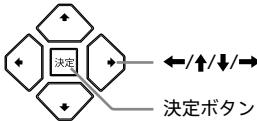
- ①(電源)ボタンを押して、本機の電源を入れる。



**4 テレビの電源を入れ、本機の映像が  
映るようにテレビの入力を切り換  
える。**

**5 [かんたん初期設定]を行う。**

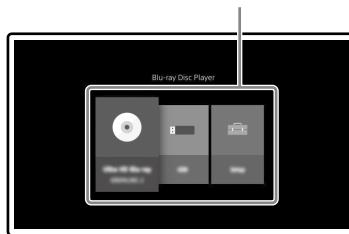
リモコンの **←/↑/↓/→** と決定ボタン  
を使い、画面の指示にしたがって設定し  
てください。



## ホーム画面表示

ホームボタンを押すと、ホーム画面が表示  
されます。**←/→** でアプリケーションを選び、  
決定ボタンを押してください。

アプリケーション



以下のアプリケーションがホーム画面に表  
示されます。

### ● (ディスク) (16ページ)

ディスクを再生します。

### ■ [USB機器] (17ページ)

USB機器のコンテンツを再生します。

### ■ [設定] (19ページ)

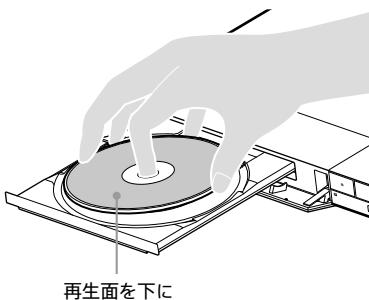
本機の設定を調整します。

## 再生

### ディスクを再生する

再生できるディスクについては、29ページをご覧ください。

- 1 テレビの電源を入れ、本機の映像が映るようにテレビの入力を切り換える。
- 2 ▲開／閉ボタンを押して、ディスクトレイにディスクをのせる。



- 3 ▲開／閉ボタンを押してディスクトレイを閉める。

再生が始まります。

再生が自動的に始まらない場合、

- (ディスク)の ▶[ビデオ]、  
▶[ミュージック]、または ◎[フォト] を選び、決定ボタンを押してください。

#### ちょっと一言

- 映像や音声が出ないなど、お困りのときは「困ったときは」(24ページ)をご覧ください。
- (ディスクおよびフォルダー)のアイコンが表示された場合は、ディスクにデータコンテンツが存在します。  
オプションメニューから[データコンテンツ]を選択することで再生させることができます。

### BONUSVIEW(ボーナスビュー) やBD-LIVE (BDライブ)を楽しむ

BD-LIVE ロゴが記載されたBD-ROMには、スペシャルコンテンツ(BONUSVIEW)や、ネットワークからダウンロードして楽しむコンテンツ(BD-LIVE)などが用意されています。

BD-LIVE™

- 1 USBメモリーを本体のUSB端子に差し込む(10ページ)。

容量1GB以上のUSBメモリーをローカルストレージとして使用してください。

- 2 BD-LIVEの準備をする(BD-LIVEのみ)。

- ・本機をネットワークにつないでください(14ページ)。
- ・[BD/DVD視聴設定]の [BD インターネット接続]を [許可する]に設定してください(21ページ)。

- 3 BONUSVIEW (ボーナスビュー) やBD-LIVE (BDライブ)対応の BD-ROMを入れる。

操作方法はディスクによって異なります。ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

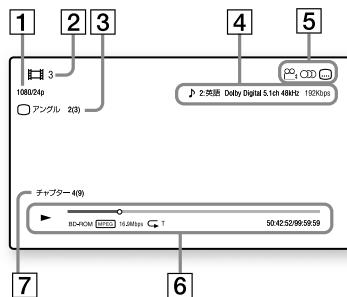
#### ちょっと一言

USB メモリー内のデータを消去するには、[BD/DVD視聴設定]で[BDデータ削除]を選び、決定ボタンを押してください。budaフォルダー内のすべてのデータが消去されます。

## 再生情報を表示する

画面表示ボタンを押すと、再生情報などを確認できます。  
ディスクの種類や本機の状態によって、表示される情報は異なります。

例：BD-ROMの場合



- [1] 出力解像度／フレームレート
- [2] タイトル番号またはタイトル名
- [3] 画面アングル
- [4] 音声設定
- [5] 使用可能な機能 (□ アングル／○ 音声／■ 字幕)
- [6] 再生情報  
再生モード／再生位置表示バー／ディスクの種類／ビデオコーデック／ビットレート／リピート設定の種類／経過時間／総時間
- [7] チャプター番号

## USB機器を再生する

USB機器内のビデオ、音楽、写真を再生できます。

再生できるファイルについては、「再生できるファイルの種類」(31ページ)をご覧ください。

### 1 USB機器を本機のUSB端子につなぐ。

つなぐ前にUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

### 2 ←/→ を押して ■ [USB機器] を選び、決定ボタンを押す。

### 3 ↑/↓ で □ [ビデオ]、△ [ミュージック]、または □ [フォト] カテゴリーを選び、決定ボタンを押してください。

## さまざまなオプション

OPTIONSボタンを押すと、さまざまな設定や再生中の操作ができます。表示されるオプションは、使用状況によって異なります。

### 共通オプション

項目	できること
[リピート設定]	リピートモードを設定します。
[再生] / [再生停止]	再生を開始または停止します。
[はじめから再生]	タイトルを始めから再生します。

## ■ [ビデオ]のみ

項目	できること
[画音同期調整]	映像と音声とのズレを補正します。音声出力を映像出力より遅らせます(0 ~ 120ミリ秒)。
[画質設定]	<ul style="list-style-type: none"> <li>[画質モード]：視聴環境の明るさに合わせて画質を設定します。</li> <li>[BNR]：画面上にモザイクのように現れるブロックノイズを低減します。</li> <li>[MNR]：映像の輪郭部に現れる細かいノイズ(モスキートノイズ)を低減します。</li> </ul>
[再生一時停止]	再生を一時停止します。
[トップメニュー]	BDやDVDのトップメニューを表示します。
[メニュー] / [ポップアップ]	BD-ROMのポップアップメニューやDVDのメニューを表示します。
[タイトルサーチ]	BD-ROMやDVDビデオのタイトルを選んで頭出します。
[チャプターサーチ]	チャプターを選んで頭出します。
[音声切換]	BD-ROM やDVD ビデオに音声トラックが複数の言語で記録されている場合、言語を切り替えます。
[字幕切換]	BD-ROM やDVD ビデオに字幕が複数の言語で記録されている場合、字幕言語を切り替えます。
[映像切換]	BD-ROMやDVDビデオに他のアングルからの映像が記録されている場合、映像を切り替えます。
[数字入力]	リモコンの $\leftarrow/\uparrow/\downarrow/\rightarrow$ ボタンで番号を選びます。

## ■ [ミュージック]のみ

項目	できること
[ トラックサーチ ]	音楽CDの再生中にトラック番号で頭出します。
[ スライドショーのBGM登録 ]	USBメモリー内の音楽ファイルを、スライドショーのBGMに登録します。
[ シャッフル設定 ]	[入]に設定すると、音楽ファイルを順不同に再生します。

## ■ [フォト]のみ

項目	できること
[スライドショーの速さ]	スライドショーの速さを設定します。
[スライドショーの効果]	スライドショーの表示方法を設定します。
[スライドショーのBGM]	<ul style="list-style-type: none"> <li>[切]：BGM を設定しません。</li> <li>[My Music (USB)]：[スライドショーのBGM 登録]で登録した音楽ファイルをBGM に設定します。</li> <li>[音楽CDから再生]：CD-DA のトラックをBGMに設定します。</li> </ul>
[表示切換]	[グリッド表示]と[リスト表示]を切り換えます。
[表示]	選択した写真を表示します。
[スライドショー]	スライドショーを再生します。
[回転(左)]	写真を左回りに90度回転させます。
[回転(右)]	写真を右回りに90度回転させます。

## 設定

# 本機の設定を変更する

本機の設定を変更したいときは、ホーム画面で  [設定] を選んでください。  
お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

1  /  でホーム画面の  [設定] を選ぶ。

2  /  を押して設定カテゴリーのアイコンを選び、決定ボタンを押す。

## [ソフトウェアアップデート]

### ■ [ネットワーク経由でアップデート]

ネットワーク経由で本機のソフトウェアを最新の状態にアップデートします。ネットワークがインターネットに接続されていることを確認してください。詳しくは、「Step 2: ネットワークにつなぐ(ソフトウェアのアップデートまたはBD-Live™利用のため)(有線LANのみ)」(14 ページ)をご覧ください。

### ■ [USBメモリーからアップデート]

USBメモリーを使って本機のソフトウェアを最新の状態にアップデートします。ソフトウェアアップデート用のフォルダ名が「UPDATE」となっていること、また、全てのアップデート用ファイルがこのフォルダ内に保存されていることを確認してください。本機が1つの階層で認識できるファイル／フォルダ数は、アップデート用のファイル／フォルダを含めて最大500個までです。

### ちょっと一言

- 2か月に1回程度を目安にネットワークアップデートを行うことをおすすめします。
- ネットワークの状態が悪いときは、USBメモリーを使って最新のソフトウェアバージョンを<https://www.sony.jp/support/bd-player/>からダウンロードし、アップデートを行ってください。

アップデートの情報は、ホームページでご確認いただけます。または、ソニーの相談窓口にご相談ください。



## [映像設定]

### ■ [テレビタイプ]

- [16:9] : ワイド画面のテレビまたはワイドモード機能が搭載されているテレビとつなぐとき、この設定を選んでください。  
[4:3] : 画面サイズが4:3でワイドモード機能が搭載されていないテレビとつなぐとき、この設定を選んでください。

### ■ [画面モード]

- [フル] : ワイドモード機能が搭載されているテレビとつなぐとき、この設定を選んでください。ワイドテレビでも4:3映像を常に16:9で表示します。  
[ノーマル] : 映像の横縦比は維持したまま、映像サイズをテレビの画面サイズに合わせて変更します。

### ■ [DVDワイド映像表示]

- [レターボックス] : ワイド映像を横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示します。  
[パンスキヤン] : ワイド映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示します。

### ■ [シネマ変換モード]

- [自動] : 通常はこの設定にしてください。ビデオ素材とフィルム素材の違いを本機が検出し、自動で素材に合わせた変換方法に切り替えます。  
[ビデオ] : 記録されている映像素材にかかわらず、常にビデオ素材用の変換方法で映像を変換します。

### ■ [出力映像解像度設定]

- 通常は[自動]を選んでください。ディスクに記録された解像度で出力するときは、[オリジナル解像度]を選んでください。解像度がSD解像度より低い場合、SD解像度にして出力されます。

---

## ■ [24p出力]

1080/24p 対応のテレビにHDMI接続しており、[出力映像解像度設定]が[自動]または[1080p]に設定されているとき、24pの映像信号を出力します。

### [BD-ROM 24p出力]

[自動]：1080/24p 対応のテレビにHDMI接続しているとき、1920×1080p/24Hzの映像信号を出力します。

[入]：設定を実行します。

[切]：お使いのテレビが1080/24pに対応していないとき、この設定を選んでください。

### [DVD-ROM 24p出力]

[自動]：1080/24p 対応のテレビにHDMI接続しているとき、1920×1080p/24Hzの映像信号を出力します。

[切]：お使いのテレビが1080/24pに対応していないとき、この設定を選んでください。

### [ビデオデータコンテンツ24p出力]

[自動]：1080/24p 対応のテレビにHDMI接続しているとき、1920×1080p/24Hzの映像信号を出力します。

[切]：お使いのテレビが1080/24pに対応していないとき、この設定を選んでください。

---

## ■ [HDMI映像出力フォーマット]

[自動]：お使いのテレビの種類に応じて、自動で映像信号の色空間を設定します。

[YCbCr(4:2:2)]：YCbCr 4:2:2の映像信号を出力します。

[YCbCr(4:4:4)]：YCbCr 4:4:4の映像信号を出力します。

[RGB]：RGBの映像信号を出力します。

---

## ■ [HDMI Deep Color出力]

[自動]：通常はこの設定にしてください。  
[16bit]、[12bit]、[10bit]：Deep Color対応のテレビにつないでいるとき、16ビット／12ビット／10ビットの映像信号を出力します。

[切]：映像が不安定、または色が不自然なとき、この設定を選んでください。

---

## ■ [一時停止モード]

[自動]：通常はこの設定にしてください。動きの大きい被写体の映像がぶれずに表示されます。

[フレーム]：動きの少ない被写体の映像が高い解像度で表示されます。

---

## ④[音声設定]

---

### ■ [デジタル音声出力]

[自動]：通常はこの設定にしてください。本機につないだ機器の状態に応じて音声信号を出力します。

[PCM]：デジタル音声出力(同軸出力)／HDMI出力端子からPCM信号を出力します。

---

### ■ [DSD Output モード]

[自動]：DSDファイルを再生しているとき、HDMI出力端子からDSD信号を出力します。つないだ機器がDSDに対応していない場合は、HDMI出力端子からLPCM信号を出力します。

[切]：DSDファイルを再生しているとき、HDMI出力端子からPCM信号を出力します。

---

### ■ [BD音声MIX設定]

[入]：セカンダリーオーディオ・インターフェイクティオーディオが含まれるBDを再生するとき、それらを混合して出力します。

[切]：プライマリーオーディオのみ出力します。HD音声信号をAVアンプに出力したいとき、この設定を選んでください。

---

### ■ [AAC]

[ダウンミックスPCM]：リニアPCM信号に変換(ダウンミックス)して出力します。AACデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないでいるとき、この設定を選んでください。

[AAC]：AACデコーダー内蔵のオーディオ機器をつないでいるとき、この設定を選んでください。

## ■ [Dolby Digital変換]

[入] : EDID (拡張ディスプレイ識別データ)を使って、DTS音源をドルビーデジタル音声に変換します。

[切] : 本機能を停止します。

## ■ [オーディオDRC]

[自動] : ディスクによって定められたダイナミックレンジで再生します (BD-ROMのみ)。他のディスクの場合、

[入]と同じレベルで再生します。

[入] : 標準的な音になります。

[切] : 迫力のある音になります。

## ■ [ダウンミックス]

[サラウンド] : サラウンド効果のかかった音声信号を出力します。ドルビーサラウンド(プロロジック)またはDTS Neo:6対応のオーディオ機器につないでいるとき、この設定を選んでください。

[ステレオ] : サラウンド効果のかかっていない音声信号を出力します。ドルビーサラウンド(プロロジック)またはDTS Neo:6に対応していないオーディオ機器につないでいるとき、この設定を選んでください。

# ④ [BD/DVD視聴設定]

## ■ [BD/DVDメニュー言語]

BD-ROM/DVD ビデオメニューに表示する言語を設定します。

[言語コード指定]を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(33 ページ)を参照して、言語コードを入力してください。

## ■ [音声言語]

BD-ROM やDVD ビデオ再生時の音声の言語を設定します。

[オリジナル]を選ぶとディスクに記録されている優先言語が選ばれます。

[言語コード指定]を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(33 ページ)を参照して、言語コードを入力してください。

## ■ [字幕言語]

BD-ROM やDVD ビデオに記録されている字幕の言語を設定します。

[言語コード指定]を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(33 ページ)を参照して、言語コードを入力してください。

## ■ [BDハイブリッドディスク再生層]

[BD] : BD層を再生します。

[DVD/CD] : DVD層またはCD層を再生します。

## ■ [BD インターネット接続]

[許可する] : BDコンテンツからのインターネット接続を許可します。

[許可しない] : BDコンテンツからのインターネット接続を禁止します。

## ■ [BDデータ削除]

USB メモリー内のデータを消去します。 buda フォルダー内のすべてのデータが消去されます。

# ⌚ [視聴年齢制限設定]

## ■ [暗証番号設定]

視聴制限のための暗証番号を設定または変更できます。暗証番号を設定すると、視聴制限があるBD-ROMおよびDVDビデオの視聴や再生を制限できます。必要に応じて、BD-ROMおよびDVDビデオに、違う制限レベルを設定できます。

## ■ [視聴年齢制限使用地域]

BD-ROMまたはDVDビデオには、住んでいる国や地域によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4桁の暗証番号を入力してください。

## ■ [BD視聴年齢制限]

BD-ROMには、見る人の年齢によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4桁の暗証番号を入力してください。

---

## ■ [DVD視聴年齢制限]

DVDビデオには、見る人の年齢によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4桁の暗証番号を入力してください。

---

## [本体設定]

### ■ [HDMI機器制御設定]

HDMI対応のソニー製機器をハイスピードHDMIケーブルで接続すると、操作が簡単にになります。

#### [HDMI機器制御]

- [入]：以下のブラビアリンク機能を利用できます。  
- ワンタッチプレイ  
- 電源オフ連動  
[切]：設定を解除します。

#### ちょっと一言

詳しくは、テレビまたは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

#### [テレビ電源オフ連動]

[有効]：つないだテレビの電源が切れると、本機の電源が自動的に切れます(ブラビアリンク)。

[無効]：設定を解除します。

---

### ■ [高速起動モード]

- [入]：電源を入れたときの起動時間を短縮します。  
[切]：待機時の消費電力を減らします。

---

### ■ [自動電源オフ]

- [入]：何も操作しないまま20分以上が経過すると、電源が自動的に切れます。  
[切]：電源は自動的に切れません。

---

## ■ [自動画面表示]

- [入]：タイトルが変わったときや、映像モードや音声信号が変わったときに画面上でその情報を自動的に表示します。  
[切]：画面表示ボタンが押されたときのみ、情報を表示します。

---

## ■ [ソフトウェアアップデート通知]

- [入]：ソフトウェアの更新情報をお知らせします(19ページ)。  
[切]：ソフトウェアの更新情報をお知らせしません。

---

### ■ [本体情報]

本機のソフトウェアのバージョンと、MACアドレスを確認できます。

---

### ■ [ソフトウェアライセンス]

ソフトウェアライセンスについての情報を表示します。

---

## [通信設定]

---

### ■ [ネットワーク設定]

前もって本機をネットワークにつないでください。詳しくは、「Step 2: ネットワークにつなぐ(ソフトウェアのアップデートまたはBD-Live™利用のため)(有線LANのみ)」(14ページ)をご覧ください。

---

### ■ [ネットワークの設定確認]

現在のネットワークの状態を表示します。

---

### ■ [ネットワーク接続診断]

ネットワークに正しくつながっているか、接続診断をします。

---

### ■ [リモート起動]

[入]：ネットワークにつなぐとき、モバイル機器を使って本機の電源を入れたり切りります。

[切]：本機能を停止します。

## •◀[設定初期化]

### ■ [お買い上げ時の状態に設定]

本機の設定を各設定ごとにお買い上げ時の設定に戻します。選んだ設定のすべての項目がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。

### ■ [個人情報の初期化]

本機に保存された個人情報を削除します。

#### ご注意

本機を廃棄、または他人に譲渡・転売する場合は、安全のために個人情報を削除してください。

# 困ったときは

本機を使用しているときに以下のような症状が起きたら、修理に出す前にこの項を参考にして点検してください。それでも正常に動作しないときは、お近くのソニーの相談窓口(裏表紙)へお問い合わせください。

## 映像

### 映像が出ない、乱れる。

- 接続ケーブルのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください(13ページ)。
- テレビを本機につないでいる入力('HDMI'など)に切り換えてください。
- リモコンの■停止ボタン、ホームボタン、ポップアップ／メニューボタンの順に押して、「[出力映像解像度設定]」を最も低い解像度にリセットしてください。
- 以下を試してください。
  - ① 本機の電源を切り、もう一度電源を入れてください。
  - ② 接続機器の電源を切り、もう一度電源を入れてください。
  - ③ HDMI ケーブルを抜き、もう一度差し込んでください。
- 著作権保護機能に対応していないDVI 機器とHDMI 出力端子をつないでいないか確認してください。
- 「[映像設定]」の「[出力映像解像度設定]」の設定を確認してください(19ページ)。
- BD-ROM / DVD-ROM / データコンテンツについては、「[映像設定]」の「[24p 出力]」を確認してください(20ページ)。

## 音声

### 音が出ない、正しく音が出ない。

- 接続ケーブルのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください(13ページ)。
- AV アンプから本機の音声が出るように AV アンプの入力を切り換えてください。
- デジタル音声出力端子から音声が出ない場合は、音声設定が正しいか確認してください(20ページ)。
- HDMI接続のときは、以下を試してください。
  - ① 本機の電源を切り、もう一度電源を入れてください。
  - ② 接続機器の電源を切り、もう一度電源を入れてください。
  - ③ HDMIケーブルを抜き、もう一度差し込んでください。
- HDMI 接続で、AV アンプを通してテレビをつないでいるときは、本機に直接テレビをつないでみてください。AV アンプの取扱説明書もご覧ください。
- HDMI 出力端子にDVI 機器がつながれている(DVI 端子は音声信号を受け付けません)。
- HDMI 出力端子につないでいる機器が、本機の音声フォーマットに対応しているか確認してください。本機の音声設定を確認してください(20ページ)。

### ドルビーデジタルプラスやドルビー TrueHD、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master AudioなどのHD音声がビットストリームで出力されない。

- 「[音声設定]」の「[BD音声MIX設定]」を「[切]」に設定してください(20ページ)。
- つながれたAVアンプがそれぞれのHD音声フォーマットに対応しているか確認してください。

### インターラクティブオーディオが出力されない。

- 「[音声設定]」の「[BD音声MIX設定]」を「[入]」に設定してください(20ページ)。

## HDMI接続時に、AAC音声がLPCMで出力される。

- AAC音声出力はBDAV（放送録画コンテンツ）のみへ対応しております。
- [音声設定]の[デジタル音声出力]を「自動」に変更してください。
- [音声設定]の[AAC]を「AAC」に変更してください。
- 接続しているテレビやAVアンプなどがAACに対応しているか確認し、接続機器の仕様や設定を確認してください。

**ディスクを再生したときに、コード3** [音声出力を一時的に停止しました。音量を調整しないでください。このタイトルはCinaviaで保護されているため本機での再生が禁止されています。詳しい情報は、<http://www.cinavia.com>をご覧ください。コード：3]というメッセージが画面に表示される。

- 本機はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画、そのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています(7ページ)。

## ディスク

### ディスクを再生できない。

- ディスクが汚れていないか、または歪んでいないか確認してください。
- ディスクが裏返しになっていないか確認してください。再生面を下にしてください。
- 本機で再生できるフォーマットのディスクか確認してください(29、31ページ)。
- 他機で記録や録画されたCDやDVDを再生するときは、正しくファイナライズされているか確認してください(30ページ)。
- BDやDVDの地域番号(リージョンコード)が本機で再生できる番号か確認してください。また、同じ地域番号でも、異なる映像方式で記録された映像は出力できません(30ページ)。

## USB機器

### つながれたUSB機器が認識されない。

- USB機器が正しくUSB端子につながれているか確認してください。
- USB機器またはケーブルの端子が汚れていないか確認してください。
- USB機器の電源が入っているか確認してください。
- USBハブを通してUSB機器をつないでいる場合、本機に直接USB機器をつないでみてください。

## ネットワーク接続

### 本機がネットワークにつながらない。

- ネットワークの接続を確認し(14ページ)、設定を確認してください(22ページ)。

**本機の電源を入れると、[ネットワーク上に新しいソフトウェアバージョンが見つかりました。「ネットワークアップデート」からアップデートを行ってください。]というメッセージが表示される。**

- 新しいソフトウェアバージョンに更新するため、[ソフトウェアアップデート](19ページ)をご覧ください。

## HDMI機器制御(ブラビアリンク)

### [HDMI機器制御]機能が働かない(ブラビアリンク)。

- [HDMI機器制御設定]の[HDMI機器制御]が[入]になっているか確認してください(22ページ)。
- HDMI接続を変更したときは、本機の電源を切り、もう一度電源を入れてください。
- 停電があったときは、[HDMI機器制御設定]の[HDMI機器制御]を一度[切]にし、その後[入]に再設定してください(22ページ)。
- 以下を確認してください。
  - 接続機器が[HDMI機器制御]機能に対応している。
  - 接続機器の[HDMI機器制御]機能の設定が正しい。
- AVアンプを通して本機にテレビをつけているとき、
  - [HDMI機器制御]に対応していないAVアンプを通してテレビにつなぐと、正しく機能が働かない場合があります。
  - HDMI接続を変更したり、電源コードを抜き差ししたり、停電があったりした場合、以下を試してください。①本機の再生映像がテレビに映るようにAVアンプ(受信機)の入力を切り換えてください。②[HDMI機器制御設定]の[HDMI機器制御]を一度[切]にし、その後[入]に設定してください(22ページ)。お使いのAVアンプ(受信機)の取扱説明書もご覧ください。

### 電源切連動が働かない(ブラビアリンク)

- [HDMI機器制御設定]の[HDMI機器制御]が[入]かつ[テレビ電源オフ連動]が[有効]になっているか確認してください(22ページ)。

## その他

### 再生が最初から始まらない。

- オプションボタンを押して、[はじめから再生]を選んでください。

### 再生が前回停止した位置から始まらない。

- 以下の場合、ディスクによってはつづき再生が解除されます。
  - ディスクトレイを開けたとき
  - USB機器を取りはずしたとき
  - ほかのコンテンツを再生したとき
  - 本機の電源を切ったとき

### ディスクを再生したときに、コード1 [再生を停止しました。このタイトルは Cinaviaで保護されているため本機での再生が禁止されています。詳しい情報は、<http://www.cinavia.com>をご覧ください。コード : 1]というメッセージが画面に表示される。

- 再生中の動画の音声トラックには、業務用設備による上映のみを対象とし、消費者による再生が許可されていないことを示すCinaviaコードが含まれています(7ページ)。

### 本体の△(開／閉)ボタンを押してもディスクトレイが開かない。

- チャイルドロック機能により、ディスクトレイがロックされている可能性があります。解除するには、本機の電源が入った状態で、リモコンの■停止ボタン、ホームボタン、トップメニューボタンの順に押してください(10ページ)。
- 以下を試してください。①電源を切ってAC電源コードを抜いてください。②本体の△(開／閉)ボタンを押しながらAC電源コードをつなぎ直してください。③ディスクトレイが開いたら△(開／閉)ボタンをはなしてください。④ディスクを取り出してください。⑤AC電源コードを抜いて、つなぎ直すと、本機が再起動します。

▲(開／閉)ボタンを押すと、[トレイがロックされています。]というメッセージが画面に表示される。

→ ソニーの相談窓口にご相談ください。

### 本機が正常に動作しない。

→ 本機の内部が結露していることがあります。結露がなくなるまで、そのまま放置してください(6ページ)。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

- ・この製品には保証書が添付されています。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- ・記録内容(コンテンツ)については、保証の対象外です。
- ・当社にて記録内容(コンテンツ)の修復、復元、複製などは行いません。

### アフターサービス

#### 調子が悪いときはまずチェック

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

#### それでも具合が悪いときは

- ・製品内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。修理をご依頼の際は原因特定のため、ご使用中のケーブル類なども合わせてお持ちください。

#### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

#### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

#### 部品の保有期間について

当社では本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

## 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

## ソニーの相談窓口のご案内

本製品についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、ホームページまたはソニーの相談窓口にお問い合わせください。(裏表紙)

- 相談窓口へお問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  - 型名：BDP-S1700/K
  - ディスクの種類：BD-ROM、DVD ビデオ、BD-RE、BD-R、DVD-RW、DVD-R など
  - ご相談内容：できるだけ詳しく
  - お買い上げ年月日

ご質問の内容によっては、本機に接続される機器についてお問い合わせさせていただく場合があります。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

## 主な仕様

### システム

#### 形式：

ブルーレイディスク／DVDプレーヤー

#### 入力／出力端子

(**端子名**：端子の種類／出力レベル／負荷インピーダンス)

#### デジタル音声出力(同軸)：

ピンジャック／0.5 Vp-p／75 Ω

#### HDMI出力：

19ピン標準コネクター

#### LAN (100)端子：

100BASE-TX

#### USB端子：

A タイプ(USB メモリー、メモリーカードリーダー、デジタルスチルカメラ、およびデジタルビデオカメラ接続用) \*

\* 充電に使用しないでください。

#### DC IN：

12 V DC、600 mA

### 電源・その他

#### 電源：

12 V DC (ACアダプター)

定格入力：AC100 V、  
50/60 Hz

#### 消費電力(ACアダプター使用時)：

8.5 W

#### 最大外形寸法：

230 mm × 194 mm × 39 mm  
(幅×奥行き×高さ)最大突起含む

#### 本体質量：

約0.8 kg

#### 許容動作温度：

5°C ~ 35°C

#### 許容動作湿度：

25 % ~ 80 %

## 付属品

- リモコン(1個)
- 単4形(R03)乾電池(2本)
- ACアダプター  
(AC-L1210WW)(1個)
- AC電源コード(1本)
- 取扱説明書(本書)(1部)
- 保証書(1部)
- ソフトウェア使用許諾契約書(1部)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

## 再生できるディスク

BD <sup>*1</sup>	BD-ROM BD-R <sup>*2</sup> /BD-RE <sup>*2</sup>
DVD <sup>*3</sup>	DVD-ROM DVD-R/DVD-RW DVD+R/DVD+RW
CD	CD-DA(音楽CD) CD-ROM CD-R/CD-RW

<sup>\*1</sup> BDは新しい規格で日々進化を続けているため、ディスクの種類やバージョンによっては再生できない場合があります。

音源や出力端子、音声設定などにより出力される音質が異なります。

<sup>\*2</sup> 本製品はVer.2.1のBD-RE、Ver.1.1、Ver.1.2およびVer.1.3のBD-R(LTHを含む)に対応しています。パソコンで記録したBD-Rを本機で再生するには、追記不可能な状態で書き込まれている必要があります。

<sup>\*3</sup> AVCREC方式やHD Rec規格で記録されたDVDは再生できません。

## 再生できないディスク

- カートリッジ型BD
- BDXL
- DVD-RAM
- HD DVD
- DVDオーディオ
- フォトCD
- CD EXTRAのデータ部分
- スーパーVCD
- DualDiscの音楽専用面
- 本機の映像方式(NTSC)と異なる映像方式(PALなど)で記録されたディスク

## ディスクについてのご注意

本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠したディスクの再生を前提として設計されています。DualDisc及び著作権保護技術を採用する一部の音楽ディスクはコンパクトディスク(CD)規格に準拠していないことから、本製品では再生できない場合があります。

## BD/DVD再生時の操作について

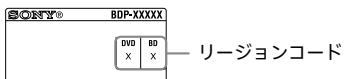
BD/DVD再生時の操作は、ソフトウェアで決められている場合があります。本機はBD/DVDのソフトウェアにしたがって再生するため、いくつかの機能が使えないことがあります。

## 2層BDや2層DVDの再生について

レイヤー(層)が切り換わるときに映像および音声が一瞬途切れることができます。

## リージョンコードについて(BD-ROM/DVDビデオのみ)

本機は、本体底面のラベルに記載されたものと同じリージョンコードのBD-ROM/DVDビデオのみ再生できます。また、がついているDVDビデオも再生できます。



## 映像方式(カラーシステム)について

本機が出力できる映像方式はNTSC方式です。

同じリージョンコードでも、PAL方式で記録されている映像は出力できません。

## レコーダーやパソコンで記録したCDまたはDVDについて

本機で再生するには、終了情報を記録するファイナライズ処理がされていることが必要です。詳しくは、記録した機器の取り扱い説明書をご覧ください。

## 再生できるファイルの種類

### ビデオ

フォーマット	コンテナ	拡張子	音声付
MPEG-1 Video	PS	.mpg, .mpeg	Dolby Digital, DTS, LPCM, MPEG
	MKV	.mkv	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3, Vorbis
MPEG-2 Video	PS	.mpg, .mpeg	Dolby Digital, DTS, LPCM, MPEG
	TS	.m2ts, .mts	Dolby Digital, DTS, LPCM, MPEG, AAC
	MKV	.mkv	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3, Vorbis
MPEG4/AVC <sup>1</sup>	MKV	.mkv	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3, Vorbis
	MP4	.mp4, .m4v	AAC
	TS	.m2ts, .mts	Dolby Digital, DTS, LPCM, MPEG, AAC
	Quick Time	.mov	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3
	FLV	.f4v	LPCM, AAC, MP3
	3gpp/3gpp2	.3gp, .3g2, .3gpp, .3gp2	AAC
VC1	TS	.m2ts, .mts	Dolby Digital, DTS, LPCM, MPEG, AAC
	MKV	.mkv	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3, Vorbis
WMV9 <sup>2</sup>	ASF	.wmv, .asf	WMA9, WMA 10 Pro
	MKV	.mkv	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3, Vorbis
Motion JPEG	Quick Time	.mov	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3
	AVI	.avi	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3

フォーマット
AVCHD (Ver.2.0) <sup>3*4</sup>

### ミュージック

フォーマット	拡張子
MP3 (MPEG-1 Audio Layer III) <sup>5</sup>	.mp3
AAC/HE-AAC <sup>6</sup>	.m4a, .aac
WMA9 Standard	.wma
WMA 10 Pro	.wma
LPCM <sup>7</sup>	.wav

フォーマット	拡張子
FLAC	.flac, .fla
Dolby Digital <sup>8</sup>	.ac3
DSF	.dsf
DSDIFF <sup>9</sup>	.diff
AIFF	.aiff, .aif
ALAC	.mp4a
Vorbis	.ogg
Monkey's Audio	.ape

## フォト

フォーマット	拡張子
JPEG	.jpeg, .jpg, .je
PNG	.png <sup>*6</sup>
GIF	.gif <sup>*6</sup>
BMP <sup>*7</sup>	.bmp

<sup>\*1</sup> 本機はレベル4.1までのMPEG4/MPEG-4 AVCフォーマットに対応しています。

<sup>\*2</sup> 本機は Advance ProfileまでのWMV9 フォーマットに対応しています。

<sup>\*3</sup> 本機は60fpsまでのAVCHDフォーマットに対応しています。

<sup>\*4</sup> 本機はデジタルビデオカメラなどで記録されたAVCHD規格の映像を再生できます。 AVCHD規格で記録されたディスクを再生するには、正しくファイナライズ処理がされていることが必要です。

<sup>\*5</sup> 本機は「.mka」ファイルを再生できます。

<sup>\*6</sup> アニメーションPNGまたはアニメーションGIFファイルは再生できません。

<sup>\*7</sup> 本機は、16ビットBMPファイルに対応していません。

<sup>\*8</sup> 本機は、DSTエンコードされたファイルは再生しません。

## ②

- ファイルのフォーマットや圧縮状況、録画状態によって再生できないことがあります。
- パソコンで記録や編集したファイルは再生できないことがあります。
- ファイルによっては、早送りまたは早戻しができないことがあります。
- DRMやロスレスなどでエンコードされたファイルは再生できません。
- 本機はBD/DVD/CDまたはUSB機器内の、以下のファイルおよびフォルダーを認識します：
  - ルートフォルダーを含め、9階層目までのフォルダー
  - 1つの階層にある500番目までのファイル
- 本機は、以下のフレームレートに対応しています。
  - AVCHD (MPEG4/AVC) は60fps以下
  - 他のビデオコーデックは30fps以下
- 本機は、40Mbpsまでのビットレートに対応しています。
- USB機器によっては、本機で再生できないことがあります。

- 本機は、マスストレージクラス(MSC)機器(フラッシュメモリーやハードディスククラウドなど)、静止画像キャプチャデバイスクラス(SICD)機器、および101キーボードを認識します。

• データの破損や消滅を防ぐために、USBメモリーとUSB機器を抜き差しするときは、本機の電源を切ってください。

• データCD上の高ビットレートのビデオファイルは、なめらかに再生できないことがあります。データDVDまたはデータBD上で再生することをおすすめします。

## ディスクの取り扱い上のご注意

- 再生面に手を触れないように持ちます。
- 直射日光が当る所など温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔かい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔かい布で拭いた後、さらに乾いた柔かい布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることができますので、使わないでください。
- ディスクにラベル印刷した場合は、印刷が乾いてから再生してください。
- 次のようなディスクを使用すると本機の故障の原因となることがあります。
  - 円形以外の特殊な形状(カード型、ハート型、星型など)をしたディスク
  - 紙やシールの貼られたディスク
  - セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク
- ディスク読み取り面の傷を取るために磨いたり削ったりしないでください。



## 言語コード一覧

詳しくは、[BD/DVD視聴設定] (21ページ)をご覧ください。  
言語名表記はISO639 : 1988 (E/F)に準拠しています。

### コード 言語

1027	Afar	1261	Japanese
1028	Abkhazian	1269	Yiddish
1032	Afrikaans	1283	Javanese
1039	Amharic	1287	Georgian
1044	Arabic	1297	Kazakh
1045	Assamese	1298	Greenlandic; Kalaallisut
1051	Aymara	1299	Cambodian; Khmer
1052	Azerbaijani	1300	Kannada
1053	Bashkir	1301	Korean
1057	Byelorussian	1305	Kashmiri
1059	Bulgarian	1307	Kurdish
1060	Bihari	1311	Kirghiz
1061	Bislama	1313	Latin
1066	Bengali	1326	Lingala
1067	Tibetan	1327	Laothian; Lao
1070	Breton	1332	Lithuanian
1079	Catalan	1334	Latvian
1093	Corsican	1345	Malagasy
1097	Czech	1347	Maori
1103	Welsh	1349	Macedonian
1105	Danish	1350	Malayalam
1109	German	1352	Mongolian
1130	Bhutani; Dzongkha	1353	Moldavian
1142	Greek	1356	Marathi
1144	English	1357	Malay
1145	Esperanto	1358	Malese;
1149	Spanish	1363	Maltese
1150	Estonian	1365	Burmese
1151	Basque	1366	Nauru
1157	Persian	1369	Nepali
1165	Finnish	1376	Dutch
1166	Fiji	1379	Norwegian
1171	Faroese	1393	Occitan
1174	French	1403	Oromo
1181	Frisian	1408	Oriya
1183	Irish	1417	Punjabi; Panjabi
1186	Scots Gaelic	1428	Polish
1194	Galician	1435	Pashto; Pushto
1196	Guarani	1436	Portuguese
1203	Gujarati	1463	Quechua
1209	Hausa	1481	Rhaeto-Romance
1217	Hindi	1482	Kirundi; Rundi
1226	Croatian	1483	Romanian
1229	Hungarian	1489	Russian
1233	Armenian	1491	Kinyarwanda
1235	Interlingua	1495	Sanskrit
1239	Interlingue	1498	Sindhi
1245	Inupiaq	1501	Sangho; Sango
1248	Indonesian		
1253	Icelandic		
1254	Italian		
1257	Hebrew		

### コード 言語

1502	Serbo-Croatian	1531	Turkmen
1503	Singhalese; Sinhalese	1532	Tagalog
1505	Slovak	1534	Setswana; Tswana
1506	Slovenian	1535	Tonga; Tonga islands
1507	Samoan	1538	Turkish
1508	Shona	1539	Tsonga
1509	Somali	1540	Tatar
1511	Albanian	1543	Twi
1512	Serbian	1557	Ukrainian
1513	Siswati; Swati	1564	Urdu
1514	Sesotho; Sotho southern	1572	Uzbek
1515	Sundanese	1581	Vietnamese
1516	Swedish	1587	Volapük
1517	Swahili	1613	Wolof
1521	Tamil	1632	Xhosa
1525	Telugu	1665	Yoruba
1527	Tajik	1684	Chinese
1528	Thai	1697	Zulu
1529	Tigrinya	1703	無指定

### 視聴年齢制限使用国・地域と対応コード

詳しくは、[視聴年齢制限使用地域] (21ページ)をご覧ください。

### コード、国・地域

2044	Argentina	2333	Luxembourg
2047	Australia	2363	Malaysia
2046	Austria	2362	Mexico
2057	Belgium	2376	Netherlands
2070	Brazil	2390	New Zealand
2090	Chile	2379	Norway
2092	Mainland China	2427	Pakistan
2093	Colombia	2424	Philippines
2115	Denmark	2428	Poland
2165	Finland	2436	Portugal
2174	France	2489	Russia
2109	Germany	2501	Singapore
2200	Greece	2149	Spain
2219	Hong Kong	2499	Sweden
2248	India	2086	Switzerland
2238	Indonesia	2543	Taiwan
2239	Ireland	2528	Thailand
2254	Italy	2184	United Kingdom
2276	Japan		
2304	Korea		

# 索引

## あ行

- アップデート ..... 19
- [映像設定] ..... 19
- 映像方式 ..... 25、30
- オプション ..... 11、17
- 音声切換 ..... 12
- [音声設定] ..... 20

## か行

- 画面表示 ..... 12、17
- カラーシステム ..... 30
- カラー ボタン ..... 11
- かんたん設定 ..... 14
- 乾電池 ..... 14
- [高速起動モード] ..... 22
- 困ったときは ..... 24

## さ行

- 再生情報 ..... 17
- 再生できるディスク ..... 29
- 視聴年齢制限 ..... 21
- [視聴年齢制限設定] ..... 21
- 自動電源オフ ..... 22
- 字幕切換 ..... 12
- 接続する
  - テレビ ..... 13
  - ネットワーク ..... 14
  - AVアンプ ..... 13
- [設定] ..... 19
- [設定初期化] ..... 23
- [ソフトウェアアップデート] ..... 19

## た行

- チャイルドロック ..... 10
- [通信設定] ..... 22
- つづき再生 ..... 12、26
- [テレビタイプ] ..... 19
- [テレビ電源オフ連動] ..... 22
- 電源オフ連動 ..... 22

トップメニュー ..... 11

## は行

- ビットストリーム ..... 24
- ファイナライズ ..... 25、30
- ブラビアリンク ..... 26
- ブルーレイディスク ..... 29
- ホーム ..... 11
- ホームメニュー ..... 19
- ポップアップ/メニュー ..... 11
- [本体設定] ..... 22

## ら行

- リージョンコード ..... 30
- リモコン ..... 11

## わ行

- ワンタッチプレイ ..... 22

## アルファベット

- BD-LIVE ..... 16
- BD-R ..... 29
- BD-RE ..... 29
- [BD/DVD視聴設定] ..... 21
- BONUSVIEW ..... 16
- Deep Color ..... 20
- HDMI ..... 20
- [HDMI機器制御] ..... 22、26
- MACアドレス ..... 22
- USB ..... 17



## お問い合わせの前に

もう一度下記の内容をご確認ください。

### ●「困ったときは」で調べる(24ページ)

困ったときや故障と思ったときの解決法を確認できます。

### ●ホームページで調べる

よくあるご質問や機能向上のためのアップデート情報など、以下のホームページで確認できます。

<https://www.sony.jp/support/bd-player/>

※製造番号を控えて頂けると、万が一の問い合わせ時に早い対応につながることがあります。

製造番号は本機の底面に表示しております。

製造番号 \_\_\_\_\_

## お問い合わせ窓口

### ●各種お問い合わせ

様々なお問い合わせ方法を準備しております。

お気軽にLINE、チャット、メールでお問い合わせください。

詳しくは以下のホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/inquiry.html>

### ●電話でのお問い合わせ

#### 【使い方相談窓口】

フリーダイヤル: 0120-333-020

携帯電話・一部のIP電話: 050-3754-9577

#### 【修理相談窓口】

フリーダイヤル: 0120-222-330

携帯電話・一部のIP電話: 050-3754-9599

FAX: (共通) 0120-333-389



ガイドナンスに沿って  
短縮番号「103」+「#」を押すと、  
担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

型名 : BDP-S1700/K

型式: YY0156D



5-043-303-03(1)

